

## 千葉市美術館企画展

「『前衛』写真の精神：なんでもないものの変容 瀧口修造・阿部展也・大辻清司・牛腸茂雄」を開催します  
～4人の作家の交流と創作を辿り、戦前から戦後へ引き継がれる「前衛」写真の精神を探る～

千葉市美術館では、企画展「『前衛』写真の精神：なんでもないものの変容 瀧口修造・阿部展也・  
大辻清司・牛腸茂雄」を以下のとおり開催しますので、お知らせします。

本展は、1930年代から80年代の「前衛」写真を4人の作家の交流と創作をもとに紹介するものです。

開催に先立ちまして、4月7日（金）14：00から記者の皆さまへの説明会を実施しますので、ぜひ取材にお越しください。

- 1 会期 令和5年4月8日（土）～5月21日（日）  
前期 4月8日（土）～4月30日（日）  
後期 5月2日（火）～5月21日（日）  
休室日 4月17日（月）、5月1日（月） ※5月1日（月）は休館日
- 2 会場 千葉市美術館（中央区中央3-10-8）
- 3 主催 千葉市美術館
- 4 ポイント ◆2023年は瀧口修造生誕120年、阿部展也生誕110年、大辻清司生誕100年、牛腸茂雄没後40年の節目の年

詩人で美術評論家の瀧口修造（1903-79）と画家の阿部展也（1913-71）、写真家の大辻清司（1923-2001）、写真家の牛腸茂雄（1946-83）はそれぞれ師弟関係や、共作を行うなど繋がりがありましたが、これまで同じ系譜で語ることはありませんでした。2023年がこの4人の節目の年であることをきっかけに、本展では1930年代から80年代までの日本写真史を4人の創作をたどりながら「前衛」という視点で捉え直すこれまでにない展覧会です。

### ◆現代の私たちが撮影する写真につながる、スナップショット的な「なんでもない」写真の源泉にある「前衛」の変遷を約270点の作品で辿る

1930年代に造形的かつ技巧的な「前衛写真」が多く発表される中、日常的な風景の中にも前衛を見出すことができるという瀧口修造の「前衛」の視点に共感した阿部展也の作品や、現代の私たちが何気なく撮影する写真につながるスナップショット的な「なんでもない」写真を制作した大辻、牛腸まで、戦前から戦後へ変遷しながら引き継がれた「前衛」の精神がどのように作品に現れたのかを約270点の作品で紹介します。

- 5 観覧料 一般 1,200円(960円)、大学生 700円(560円)  
 ※ 小・中学生、高校生および障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料。  
 ※ ( )内は前売券、市内在住65歳以上の方の料金。  
 ※ 前売券は、ローソンチケット(Lコード:31440)、セブンイレブン(セブンチケット)、千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口にて4月7日まで販売(4月8日以降は当日券販売)。  
 ※ リピーター割引:本展チケット(有料)半券のご提示で、会期中2回目以降の観覧料半額  
 ※ ナイトミュージアム割引:金・土曜日の18時以降は観覧料半額
- 6 関連イベント 展覧会に関連した講演会やワークショップを開催。
- 7 その他 本展のチラシ別添

「『前衛』写真の精神:なんでもないものの変容 瀧口修造・阿部展也・大辻清司・牛腸茂雄」  
 披露説明会 開催概要

日時 4月7日(金)14:00から  
 場所 千葉市美術館 8階展示室  
 内容 展覧会や主な展示作品の見所について担当学芸員からご説明いたします。

<本件に関するお問い合わせ先> 千葉市美術館 担当学芸員 庄子真汀  
 広報担当 磯野 愛  
 〒260-0013 中央区中央3-10-8  
 電話 043-221-2311  
 FAX 043-221-2316  
 E-Mail isono@ccma-net.jp